

ICSW

ICSW グローバル・コーポレーション (国際社協ニュースレター)

2007年11月

【概要】

- 公正なグローバリゼーションのためのディーセント・ワーク（働き甲斐のある人間らしい仕事）に関する ILO フォーラム
- 『グローバル・ソーシャル・ポリシー』誌
- 食糧支援再考
- 4つの新ウェブサイト
- OECD ニュース
- 新刊4冊紹介
- 2008年第33回世界社会福祉会議

公正なグローバリゼーションのためのディーセント・ワークに関する ILO フォーラム

ILO フォーラムは、ディーセント・ワークのコンセプトおよびディーセント・ワーク・アジェンダの分析とプロモーションに焦点を当てていた。こうしたコンセプトおよびアジェンダは、公正かつ包括的なグローバリゼーション世界を形作るための、経済的、社会的、そして環境的持続性への道りである。「ディーセント・ワーク」という言い回しは、自由、平等、安全、尊厳という条件を備えた上での、万人のための生産的な仕事へのアクセスの機会を意味する。ディーセント・ワーク・アジェンダは、地方、国、地域、地区、そしてグローバルなレベルにおいて、生産的な雇用とディーセント・ワークという目的を追求するためのプログラム政策的アプローチであり、以下の4つの柱がある。

1. 仕事における基準と権利
2. 雇用創出及び企業育成
3. 社会保護
4. ガバナンスと社会対話

より広大な戦略と個別の政策分野には、技能育成、インフォーマル経済のアップグレード、労働移民、社会保護の拡大、恵まれない状況や差別の克服、そして国際組織間での政策一貫性を改善する手段と方法などの課題が含まれている。

フォーラムには、各国政府、雇用主組織、労働組合、政府間機関、議員、地方自治体、研究者、そして市民社会組織が参加した。フォーラムのペーパーについては、下記を参照されたい。

http://www.ilo.org/global/What_we_do/Events/Symposiaseminarsandworkshops/lang--en/WCMS_083618/index.htm

『グローバル・ソーシャル・ポリシー』誌

ICSW は、賛助者である SIDA (スウェーデン国際開発協力庁) およびフィンランド外務省を通して、この重要な雑誌に支援を行なっている。ICSW の全メンバーは、会員特典としてこの雑誌を受け取っている。「Social Policy Dimensions of World-Regionalism (世界の社会政策次元－地方主義)」についての特集号が、まもなくお手元に届くはずである。SAGE 出版のご好意により、『グローバル・コーポレーション』の読者は皆、11 月末まで以下のアドレスから記事にアクセスすることができる。

Edited by Nicola Yeates: 1 December 2007; Vol. 7, No. 3

<http://gsp.sagepub.com/content/vol7/issue3/?etoc>

Editorial Introduction: Special Issue on The Social Policy Dimensions of World-Regionalism

Nicola Yeates

Global Social Policy 2007; 7 251-252

<http://gsp.sagepub.com/cgi/reprint/7/3/251?etoc>

Global Social Policy Forum

Brid Brennan and Cecilia Olivet

Global Social Policy 2007; 7 253-254

<http://gsp.sagepub.com/cgi/reprint/7/3/253?etoc>

Alternative Regionalisms: Why and How?

Dot Keet

Global Social Policy 2007; 7 255-258

<http://gsp.sagepub.com/cgi/reprint/7/3/255?etoc>

People's Dialogue on Alternatives for Regional Integration (CANDIDO GRZYBOWSKI is a Sociologist and Director General of the Brazilian Institute of Social and Economic Analysis (IBASE), Rio de Janeiro, Brazil.

Candido Grzybowski

Global Social Policy 2007; 7 258-260

<http://gsp.sagepub.com/cgi/reprint/7/3/258?etoc>

Civil Society Challenging ASEAN (JENINA JOY CHAVEZ is Senior Researcher with Focus on the Global South, Manila, Philippines.)

Jenina Joy Chavez Global Social Policy 2007; 7 260-262

<http://gsp.sagepub.com/cgi/reprint/7/3/260?etoc>

Alternative Regional Strategies in Africa

Dot Keet Global Social Policy 2007; 7 262-265

<http://gsp.sagepub.com/cgi/reprint/7/3/262?etoc>

Social Movement Strategies and Integration of Peoples (GONZALO BERRON is Coordinator of the Secretariat of the Hemispheric Social Alliance [HSA], Sao Paulo, Brazil.)

Gonzalo Berron

Global Social Policy 2007;7 265-267

<http://gsp.sagepub.com/cgi/reprint/7/3/265?etoc>

Regionalisms Futures: The Challenges for Civil Society

Brid Brennan and Cecilia Olivet

Global Social Policy 2007; 7 267-270

<http://gsp.sagepub.com/cgi/reprint/7/3/267?etoc>

The Social Dimension of the European Union: Innovative Methods for Advancing Integration

Monica Threlfall

Global Social Policy 2007; 7 271-293

<http://gsp.sagepub.com/cgi/content/abstract/7/3/271?etoc>

Strategic Regionalism and Regional Social Policy in the FTAA Process

Jose Briceno Ruiz

Global Social Policy 2007; 7 294-315

<http://gsp.sagepub.com/cgi/content/abstract/7/3/294?etoc>

Caribbean Single Market Economy (CSME) and the Intra-Regional Migration of Nurses: Some Proposed Opportunities

Roger Hosein and Clive Thomas

Global Social Policy 2007; 7 316-338

<http://gsp.sagepub.com/cgi/content/abstract/7/3/316?etoc>

Free Trade and Social Citizenship: Prospects and Possibilities of the Central American Free Trade Agreement (CAFTA-DR)

Peter Abrahamson Global Social Policy 2007; 7 339-357

<http://gsp.sagepub.com/cgi/content/abstract/7/3/339?etoc>

Social Policy in ASEAN: The Prospects for Integrating Migrant Labour Rights and Protection

Jenina Joy Chavez

Global Social Policy 2007; 7 358-378

<http://gsp.sagepub.com/cgi/content/abstract/7/3/358?etoc>

Review essay: Regional Integration, Poverty and Social Policy: K. MALHOTRA, C.

BAHADUR, S. JAHAN AND M. KEKLIK, Making Global Trade Work for People. New York: UNDP and Earthscan, 2003. 341 pp. M. SCHIFF AND L.A. WINTERS, Regional Integration and Development. Washington: The World Bank, 2003. 321 pp. D.W. TE VELDE (ed.), Regional Integration and Poverty. Aldershot: Ashgate, 2006. 297 pp

Luk Van Langenhove and Philippe De Lombaerde

Global Social Policy 2007; 7 379-385

<http://gsp.sagepub.com/cgi/reprint/7/3/379?etoc>

GSP Digest

Global Social Policy 2007; 7 386-397

<http://gsp.sagepub.com/cgi/reprint/7/3/386?etoc>

なお、SAGE出版の新作案内は無料で利用できる。下記からサインアップのこと。

<http://online.sagepub.com/cgi/alerts>.

食糧支援再考

『Guardian Weekley』は、10月19日に「Feeding the World (世界に食べ物を)」と題した面白い増補版を掲載した。Annie Kellyは、NGOのCARE Internationalの出した声明を引用した。今年、CAREは米国の食糧援助2300万ドルを断った。CAREによれば、貨幣化された食糧援助(食糧援助の穀物を基金開発の仕事に売るというNGOの実践)は、2009年までに段階的に廃止されるとのことである。CAREはこう述べている。

「食糧を基金プログラムに売るとは非効率的であり、またしばしば、命を繋ぐための穀物が、本当に飢えている人ではなく、それを購うことのできる人々の手に渡ることがあります…米国からの補助付きの輸入は、地元市場の成長を鈍化させます。CAREが奨励しようとしている、まさにそのことを破壊してしまうのです」

http://www.un-ngls.org/site/article.php3?id_article=330&var_mode=calcul

4つの新ウェブサイト

国連とミレニアム開発目標 (MDG)

国連は、世界のどこで、どのように、貧困に終止符を打つというMDG達成に成功したか、また失敗したか、を紹介する新しいウェブサイトを立ち上げた。

<http://www.mdgmonitor.org/>

MDGモニターは、政策立案者、開発実行者、ジャーナリスト、学生などが、インタラクティブ・マップ (interactive maps) および国毎のプロフィール (profiles) を通して進

捗状況を追跡する、あるいは各国の課題と業績について学び、最新のニュース (news) を入手する、そしてMDGのために働いている世界中の組織 (organizations) を支援するためのツールとしてもデザインされている。

新しい保健促進ウェブサイト

保健促進に関するNGOアドバイザリー・グループ (NGO Advisory Group on Health Promotion) が、自前のウェブサイトを持つことになった。アドレスは以下の通り。

<http://www.ngos4healthpromotion.net>

ここでは、ジャカルタ会議以来10年間にわたる、保健促進の分野におけるNGOアドバイザリー・グループの関与をくまなく紹介している。NGOアドバイザリー・グループは、以下のように述べている。

「ウェブサイトの設置は、NGOや保健促進に関する活動や文書などへのアクセスを容易にすることと、それからメンバーのために、インタラクティブ・ツールを提供すること、またNGOコミュニティのために、より広大なネットワークを提供することを目的としたものです」

国連人間の安全保障ユニット (UN Human Security Unit) の新しいウェブサイト

国連人道問題調整部内の人間の安全保障ユニットは、新しいウェブサイトを立ち上げた。これは、「国連人間の安全保障基金」(UNTFHS)、「人間の安全保障諮問委員会」(ABHS)、および国連制度内における人間の安全保障の中心としての本ユニットの活動のプラットフォームとして利用されるものである。

<http://ochaonline.un.org/humansecurity>

精神保健の新しいウェブサイト

精神保健政策、立法、サービス、人権および開発に関する基本的な情報を提供する、WHOのMINDウェブサイトである。

http://www.who.int/mental_health/policy/en/

OECD ニュース

カナダの開発協力プログラムに関する OECD レビュー: 発表 ([Announcement](#)) ~『OECD 開発ジャーナル』に掲載予定の「主要な発見レポート (全文)」へのリンクを含む~

欧州共同体 (2007)、DAC ピアレビュー (開発援助委員会援助審査): 主要な発見と勧告
「欧州共同体の開発協力政策およびプログラムのレビュー」

[OECD Review of European Community's Development Co-operation](#) (英語)

援助効果：パリ宣言のモニタリングに関する 2006 年調査～結果の概要：ウェブサイト ([Website](#)) (テキストは『OECD 開発ジャーナル』において閲覧可能。 [Volume 8, Issue 2 on SourceOECD](#))

『開発途上国における官民対話：機会とリスク』：オンライン・ブックショップ ([Book on Online Bookshop](#))、OECD ブックソース ([Book on Source OECD](#))

『非形式的制度：社会規範はいかにして開発を支援／妨害するか』
[Book on Online Bookshop](#) | [Book on Source OECD](#)

4つの新刊書

開発センター研究

『非形式的制度：社会規範はいかにして開発を支援／妨害するか』

非形式的制度—家族や血縁関係、伝統や社会規範—は、政策上の所産を形作る上でしばしば決定的な要因となる。本書では、これらをいかに扱うかの実用的な方法について提唱している。現在オンライン・ブックショップにて廉価版あるいは PDF 形式の E-ブックで入手可能。

[Now available in paperback and/or PDF E-Book from the Online Bookshop](#)

『NGO 外交：国際環境交渉における NGO の影響』

[Michele M. Betsill](#) および [Elisabeth Corell](#) 編、序文は [Felix Dodds](#)。本書は、国際的な環境交渉における NGO 外交の体系的比較研究のための分析的フレームワークを提起している。アマゾンもしくは MIT を通して入手可能。

『ヨーロッパにおける統合的社会福祉事業』欧州評議会出版 (Council of Europe Publishing)

本報告書は、他の選択された公共サービスと社会福祉事業との統合を検証することを使命とした専門家グループによって行なわれた、2 年間に及ぶプロジェクトの結果である。統合と言うコンセプトは、ここでは、利用者やその家族あるいは介護者にとって最良のサービスを提供するために、異なるサービスの調製および効果を増加させるための様々なアプローチおよび方法をカバーするものである。

Prof Brian Munday 著、ISBN 978-92-871-6209-0 €10/USD15 + 10% 送料。

注文は下記から。

[http://book.coe.int/sysmodules/RBS_page/admin/redirect.php?id=36\(=EN&produit_aliasid=2234](http://book.coe.int/sysmodules/RBS_page/admin/redirect.php?id=36(=EN&produit_aliasid=2234)

『民主主義と社会政策』（国連社会開発研究所（UNRISD）ニュース）
本書は、Yusuf Bangura が編集したもので、民主主義と社会政策の複雑に入り組んだ関係を検証している。経済発展は、福祉発展の必要条件であるが、十分条件ではない。

<http://www.unrisd.org/80256B3C005BF3C2/setLanguageCookie?OpenAgent&langcode=en&url=/80256B3C005BCCF9/search/280A6C8B6A117FE9C125737F0024B4B6?OpenDocument>

2008年 ICSW 第33回世界社会福祉会議

2008年第33回世界社会福祉会議

日程：2008年6月30日～7月4日

場所：フランス、トゥール（Tours）

連絡先：comite.service.francais@wanadoo.fr

ICSW にとっては記念すべき 80 周年となる。会議のテーマは『ソーシャルワーク、社会保護、そして社会開発：我々は何処に行っていたのか、そして何処へ行くのか？』である。

本ニュースレターの拡大版には、多数の新出版物についてのレポートが掲載されている。

本ニュースレターの内容の引用・転載は、出展を明らかにする限り自由です。本ニュースレターに掲載された見解は、必ずしも ICSW の方針であるとは限りません。

編集：ICSW 常務理事 デニス・コレル

ICSW 連絡先

ICSW C/- MOVISIE PO Box 19129

3501 DC Utrecht

Netherlands

Email: icsw@icsw.org

Tel: +31 30 789 2226

【概要】

- 2007年における ICSW の主な活動
- 平和に至る市民の道
- 『世界社会情勢報告』
- 新国連 NGO ウェブサイト
- 移民、開発援助、保健に関する OECD レポートの紹介
- UNRISD (国連社会開発研究所)
- フリードリヒ・エーベルト財団
- 国際貧困センター
- 各種会議

2007年における ICSW の主な活動

2007年の活動の詳細を含む「年次報告 2007」は、2008年の初頭にウェブサイトに掲載される予定である。いくつかのハイライトを以下に取り上げてみる。

- アフリカにおけるメンバーシップの急増と黒海地域での新しい試み。
- モーリシャスのメンバーが主催した、東アフリカおよび南アフリカにおける、親組織 (ICSW の各国会員組織) の常務理事向けのトレーニング・プログラムの成功。内容は、各国における代表社協の設立、常務理事の抱える課題、代表社協の価値観ベースの確立、価値観から政策へ、政策への影響、などである。参加者がそれぞれ自分たちの代表社協のためのワークプランを立てることで、トレーニング・プログラムは終了した。
- 黒海 NGO ネットワークは、ブルガリアで行なわれた 3 回目の会議で、立派に 1 人前になったといえる。限られた時間の中で、ネットワークは、特に「組織改変およびよきガバナンスに関するワーキング・グループ」に参加することによって、黒海経済協力機構との間に力強く堅固な作業協力関係を築いた。
- 中央・西アフリカと西アフリカ諸国経済共同体との間の契約。
- ケニアのナイロビで行なわれた世界社会フォーラムで、アフリカの NGO リーダー向けに行われた、政府予算への影響および代表社協設立に関するトレーニング。
- 全 ASEAN 諸国から社会福祉・開発担当相を迎えた、社会政策に関する第 1 回 GO-NGO フォーラムを含む、南東アジア・太平洋地域と ASEAN との間の契約。

- 全 ICSW メンバーに配布されている『グローバル・ソーシャル・ポリシー』誌に対する継続的支援。
- ICSW ヨーロッパ地域は、『個人、グループ、そして国家における機会均等』『移民コミュニティにおける文化保存と権力拡大に関する専門家会議』『生産的な要素としての社会投資および社会保護に関する国際専門家セミナー』と題した地域会議を引っ張った。
- 国連社会開発委員会での『万人のための完全雇用およびディーセント・ワークの促進』についての ICSW による発表。および、サイト・イベント「グローバル化する世界における発展のための総合社会・雇用政策」における発表。
- ユネスコの社会開発担当相会議 2 つに出席。
- 数多くのフォーラムで行なわれた、コペンハーゲンでの社会開発サミットにおける公約に対する ICSW の支援についてのスピーチ。
- 上記については、スウェーデン国際開発協力庁、フィンランド外務省およびノルウェー政府のご支援により、可能となったものである。

平和に至る市民の道

ノーベル経済学賞受賞者であり、ハーバード大学の教授でもあるアマティア・セン (Amartya Sen) 博士が、敬意と理解に関する連邦委員会において議長を務めた。委員会の報告書は、2007年11月に出された。セン博士は『ガーディアン・ウィークリー (Guardian Weekly)』紙上で (2007年11月16日)、「報告書は、特にテロリズムと洗練された暴力の防止とに焦点を当てている」と述べた。また「報告書は、軍のイニシアチブが正当化されることはないとは言っていないが、もし彼らが誤った情報や脆弱な理由付けに依っている場合、あるいはもし市民の処置に不適切に関わっている場合は、逆効果の結果を招くだろうということは主張している」とも述べた。セン博士はまた説得力あふれる言い方で、「今日、選り出されたプライオリティーの分裂は、他の関係はないがしるにして、次第に国家的というよりむしろ宗教的アイデンティティーの擁護にもとづくものとなってきている」と主張した。詳細は以下を参照のこと。

<http://publications.thecommonwealth.org/civil-society-18-c.aspx>

『世界社会情勢報告 2007』

『世界社会情勢報告』では、貧困撲滅ならびに社会開発促進における生産的な雇用とディーセント・ワークの重要な役割について、詳しく触れている。本報告書は、雇用および仕事における世界的な傾向を検証し、ここ 10 年間における政策が労働者のより大きな不安定をもたらした原因となったと結論付けている。本報告書は、経済および社会政策立案の

中心に生産的な雇用を据えるよう、各国政府に勧告している。

<http://www.un.org/esa/socdev/social/rwss/>

新国連 NGO ウェブサイト

国連経済社会局（UN/DESA）の国連NGOセクションは、協議資格を有するNGOが必要とする情報に焦点を当てた、新しいウェブサイトを立ち上げた。NGOは、このウェブサイトを通して、NGOと国連の協力を調整するために設立された非公式な地域ネットワークであるUN-NGO-IRENE（UN-NGO Informal Regional Networks）にもアクセスすることができる。市民社会は、現場における最も優れた実践やサクセス・ストーリーについての双方向的なインプットを可能にする、AMR Innovation Fair（年次閣僚再検討会議革新フェア）についてのブログを含むECOSOC（国連経済社会理事会）の新しい機能にどのようにして参加すればよいかに関する情報にアクセスすることができる。詳しくは以下を参照のこと。

<http://www.un.org/esa/coordination/ngo/>

（UN-NGO-IRENE） <http://www.unpan.org/NGO.asp>

（AMR Innovation Fair） <http://www.amrif2008.blogspot.com/>

移民、開発援助、保健に関する OECD レポートの紹介

『移民および開発途上国に関する OECD レポート(OECD Report on Migration and Developing Countries)』

この新しいレポートは、より優れた、またより筋の通った移民政策が、世界の貧困に対する闘いに貢献する、と結論付けている。もし適切に管理されれば、移民は3つの方法で開発を支えることができる。

- 移民の技能形成を育む（頭脳流入）。
- 移民による故郷への送金を増やす。
- 開発途上国における余剰労働力を吸収する。

詳細については以下を参照のこと。

- 本を購入する。 [Purchase the book](#)
- 移民と開発途上国についてもっと読む [Read more on Migration and Developing Countries](#)
- 移民についての我々のウェブサイトを見る [Visit our website on Migration](#)
- 移民についてもっと調べる [Find out more on Migration: New Policies for Greater](#)

Gains

『OECD の新しい開発援助紹介 (OECD's new Development Aid at a Glance)』は、海外支援情報をわかりやすく紹介し、また主要なデータについての StatLink も包含している。[Book on Online Bookshop](#) | [Book on SourceOECD *](#)

『DACNews : 2007 年 11 月号』では、援助の効果、交易支援、市民社会組織、そして貧困削減において農業が果たす役割について特集している。

Newsletter

『Health at a glance (将来の健康のために)』

ヘルスケアは OECD 諸国の中でも大きく改善されつつあるが、慢性病に対するよりよい管理が必要である。例えば、『Health at a Glance 2007』によれば、糖尿病患者で必要な目のスクリーニングを行なっているのは半数のみである。

[Press Release](#) | [Book Announcement](#) | [Book on Online Bookshop](#) | [Book on SourceOECD](#)

UNRISD (国連社会開発研究所)

『東アジアにおけるネオリベラリズムと制度改革：比較研究』

アジア通貨危機を受けて、国際的な金融機関は、東アジアの国々における経済運営を改造するためのネオリベラル的な解決策を提言した。本研究は、通貨危機に続いて東アジアで起こった構造的な変化を検証し、提言された解決策の哲学的かつ経験的な基礎を調査し、どの程度までそうした解決策が採用されたかを探求している。

<http://www.unrisd.org/80256B3C005BF3C2/setLanguageCookie?OpenAgent&langcode=en&url=/80256B3C005BCCF9/search/9B93198E376F0AF4C125739B002EB6FD?OpenDocument>

『南における官－民パートナーシップの影響評価』

本ペーパーでは、官－民パートナーシップ (PPP: Public-Private Partnerships) の影響評価についての巻の議論の基礎となるいくつかの主要な仮説について検証しており、

- 〔1〕 開発途上国における PPP の効果について、知りたくないと思う関係者もいるかもしれない。
- 〔2〕 影響評価の方法論を用いて知り得るこうした効果について、客観的な真実がない。
- 〔3〕 影響評価を通して生じた洞察は、学習リソースとして使われるかもしれないが、必ずしも一つのコンテキストから別のコンテキストへと移転されるとは限らない。

ある特定のセッティングにおいて機能したものが、別のところでは働かないかもしれないからである。

本ペーパーは更に、影響評価の方法論を通して、PPP 効果について実際に知られていることは何かを調査した。

<http://www.unrisd.org/80256B3C005BF3C2/setLanguageCookie?OpenAgent&langcode=en&url=/80256B3C005BCCF9/search/CB11C6423C3C33E1C1257393004A339C?OpenDocument>

『送金、移民、社会開発：文献の概念レビュー』

本ペーパーは、移民と開発の論理のより広い概念的な枠組みの中での、送金と途上国世界における社会開発の次元との関係についての経験的な文献をレビューしている。一般的に移民と送金は、家庭や家族が推し進める、危険を拡散する共同保険的な生計戦略の一部である。移民と送金は、直接的・間接的に幸福を後押しし、経済成長を刺激し、そして貧困を削減する潜在力を秘めている。その不平等に対する効果については、もっと曖昧である。

<http://www.unrisd.org/80256B3C005BF3C2/setLanguageCookie?OpenAgent&langcode=en&url=/80256B3C005BCCF9/search/8B7D005E37FFC77EC12573A600439846?OpenDocument>

『市民社会の立役者たちの類型論：国際貿易ルールおよび障壁を変える運動の事例』

本ペーパーは、組織的な特質や世界観に基づいた、市民社会の活動家たちの類型論を提案し、それからその類型論を、国際貿易ルールおよび障壁の変更運動に応用している。そうしながら、増大する自治と市民社会の影響およびグローバリゼーションのコンテキストにおける市民社会活動家の多様化についての現在の論争に、一役買おうとしているのである。

<http://www.unrisd.org/80256B3C005BF3C2/setLanguageCookie?OpenAgent&langcode=en&url=/80256B3C005BCCF9/search/0451352E376C1031C12573A60044CE42?OpenDocument>

フリードリヒ・エーベルト財団

『ジェンダー的正義と融和』

不定期ペーパーNo.35、2007年11月

<http://library.fes.de/pdf-files/iez/05000.pdf>

Nahla Valji は、内在するジェンダー化された力関係故に、女性にとっての紛争と変遷の経験が、男性のそれと異なっているかについて検証している。本ペーパーでは、紛争終結後の男性主導型諸制度における明確な女性のニーズについて考察し、ジェンダー的

展望から見た移行する司法フィールドの前提条件を検証している。

『融和と開発』

不定期ペーパーNo.36、2007年11月

<http://library.fes.de/pdf-files/iez/04999.pdf>

Karen Brounéus は、正義、安全保障、政策のそれぞれに関連する融和について、またそれらの政策的な関わり合いについて、いくつかの気になる問題に関する概要を説明し、また最近の「真実委員会 (truth commission)」および「真実語り (truth telling)」についての研究を紹介している。Brounéus は、もし安全保障が提供されないのであれば、融和のプロセスは、反動、増大する暴力、あるいは真実の抑圧などの危機に瀕する可能性がある論じている。

国際貧困センター (IPC)

『貧困削減に資する経済成長 (Pro-Poor Growth) : 物議を醸した結婚ではあるが、離婚にはまだ早い』 - One Pager #45

著者の Terry McKinley は、なぜ「Pro-Poor Growth」のコンセプトに対する熱心さが衰え、「包括的成長」のような代替物に取って代わられつつあるのか、について分析している。オンラインでは以下を参照のこと。

<http://www.undp-povertycentre.org/pub/IPCOnePager45.pdf>

『増大する痛み：中南米における新条件付現金振替プログラムについての主たる課題』 - One Pager #44

著者の Fabio Veras Soares と Tatiana Britto は、とりわけブラジルやメキシコに比べて低い財政的・組織的能力しか持たないエルサルバドルやパラグアイといった国々における、新条件付現金振替プログラムの「出口」戦略という主要課題について述べている。オンラインでは以下を参照のこと。

<http://www.undp-povertycentre.org/pub/IPCOnePager44.pdf>

『サハラ以南のアフリカにおける、ミレニアム開発目標に基づく戦略のマクロ経済的な含蓄 - 政策研究ノート #4』

著者の John Weeks と Terry McKinley は、投資や経済成長および人類の成長を促進する可能性のある、ミレニアム開発目標に基づく開発戦略と調和する、マクロ経済的な政策を描き出そうと試みている。流行中の新保守主義経済モデルを拒否し、公共投資に焦点を当てたより拡大的な財政政策、国際競争力を育むことに焦点を当てた為替レート管理、そして財政拡大および輸出促進を支える通貨政策を求めている。オンラインでは以下を参照の

こと。

<http://www.undp-povertycentre.org/pub/IPCPolicyResearchBrief4.pdf>

各種会議

第 34 回国際社会事業学校連盟 (IASSW) 隔年会議

日程：2008 年 7 月 20 日～24 日

場所：南アフリカ、クワズル・ナタール州、ダーバン、

会場：International Convention Centre

テーマ：グローバルとローカルの分断を超えて：ソーシャルワーク教育および実践の課題

要約締切：2008 年 1 月 31 日

連絡先：www.iassw2008.co.za

e-メール：jassw2008@infos.co.za

2008 年第 33 回世界社会福祉会議

日程：2008 年 6 月 30 日～7 月 4 日

場所：フランス、トゥール (Tours)

連絡先：<http://www.icsw2008.org>、comite.service.francais@wanadoo.fr

ICSW にとっては記念すべき 80 周年となる。会議のテーマは『ソーシャルワーク、社会保護、そして社会開発：我々は何処に行っていたのか、そして何処へ行くのか？』である。

本ニュースレターの内容の引用・転載は、出展を明らかにする限り自由です。本ニュースレターに掲載された見解は、必ずしも ICSW の方針であるとは限りません。

編集：ICSW 常務理事 デニス・コレル

ICSW 連絡先

ICSW C/- MOVISIE PO Box 19129

3501 DC Utrecht

Netherlands

Email: icsw@icsw.org

Tel: +31 30 789 2226